あさがおリハビリサポートセンター

通所介護

あさがおリハビリサポートセンター

ご自宅までの送り迎え、施設での入浴、お食事、レクレーションなど楽しめる日帰りサービスです。

リハビリテーション



開放感あふれる空間に、 様々な種類のリハビリ機器を ご用意しました。

階段の昇り降りや歩く、座るなど、日 常生活で必要な動作を少しでも楽にで きるように、リハビリを行います。



リハビリテーション

- ・常にスタッフがいるから、いつでもリハ ビリができます。
- 利用者さまひとりひとりに合わせたメニューを提供します。
- ・身体機能の回復や維持のためのリハビリを行う理学療法士や、食事・着替えなど 日常の動作訓練を行う作業療法士など、 専門スッタフが利用者さまと一緒に頑張り ます。

交 流



いろんな人とのつながりで、楽しみや生きがいの場を提供します。

・季節に沿った行事や、体を使った体操、 音楽療法、カラオケなど、楽しい企画をた くさんご用意しています。ときには、ショッ



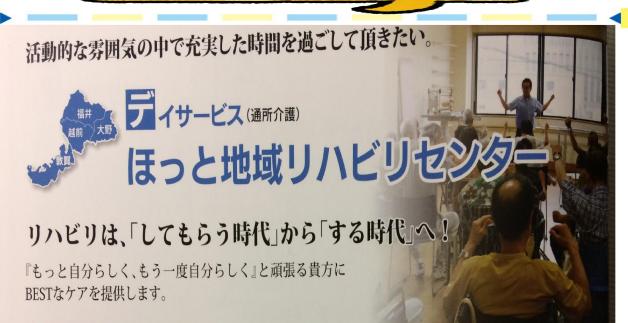
見学後の感想

- ・ご家族の方や利用者の方が家庭でもできる体操や活動(計算や塗り絵)を提供していることは家族の方の支援にもつながっていると感じた。
- ・月に1回のイベントとしてショッピング外 出やバーベキュー大会、おまつりを企画 していることは通所の楽しみにもなり励み にもなると思った。
- ・月に2回の手芸教室や講師を招いての 書道教室を開催して出来上がった作品を 展示してやる気に繋げる工夫が良かった。

- ・自分の施設でも利用できそうなプログラムがあったので取り入れてみようと思う。
- ・障がい者を受け入れたことはないが応相談と言われたので機会があったら相談したい。
- ・一人ひとりに合わせての運動やリハビリの仕方を声かけしていきたい。



ほっと地域リハビリセンターリハフィットほっとチャレンジ





リハビリテーション

- ・<u>個別リハビリ:</u>リハビリ専門職による充実した パーソナルケア。
- ・<u>グループリハビリ</u>:根拠に基づく障害別参加型グループリハビリ。

交 流

クラブ活動:自己選択・自己決定へのトライ

活動を引き出す参加型プログラム

俳句クラブ パソコンクラブ 手芸・書道クラブ オセロクラブ カラオケクラブ 囲碁・将棋クラブ 麻雀クラブ



見学後の感想

- ・身体機能維持を目的に通いながら麻雀 を楽しむ、パッチワークで素敵な作品が仕 上がるなど自宅ではできない楽しみを持つ 場として良いと思った。
- ・定期的に評価をしてリハビリの効果を見えるようにしたことで目標を持って取り組み体力を維持することができていると思った。
- ・単なる託老所とは違う充実した内容のプログラムを見て施設全体が明るく前向きに取り組んでいることが良くわかった。
- ・毎月の外出企画もカフェや買い物などいろいろな場所に出かけることもいいと思った。
- ・個別リハビリでは、各利用者に合わせて、 プログラム活動では、タイプの違った7つ に分けられており、利用者の選択肢が秘 匿、利用者に決定権がある点で、本人も主 体性があると感じた。

- ・手すりを使った運動や口腔体操は視覚障害の方でも気軽にできそうだと思ったので 参考にしたい。
- ・自分の事業所でも利用者さんが徐々に高齢化しているので身体的な老化を予防するためにこういったリハビリをお勧めしていきたい。
- ・介護認定を取っていないと利用が難しいとのことで今後は福祉サービスでも利用できるリハビリ特化型デイサービスなどができるといいと思った。
- ・本人の能力・思いを確認して、このような事業所につないでいくことも必要だと感じた。

いちこ テイセンターみのり





個別機能訓練



- ・機能の改善、減退防止の為にその人に合わせた目標設定を行い、機能訓練を実施しています。
- ・理学療法士、作業療法士2名が常駐しており、 専門的なアドバイスもさせていただけます。
- ・歯科衛生士による歯の状態確認、お手入れや歯磨きの指導等のアドバイスを行っています。
- ・言語聴覚士が来所し、楽しく歌を歌ったり早口 言葉をしたりと声を出す訓練をしています。
- ・3か月に一度、生活相談員が利用者様一人一人のご自宅にお伺いさせて頂いています。



交流



季節にあった祭事や地域の方との交流の機会を持ちながら皆様が楽しく元気になれる行事を毎月行っています。利用者様の笑顔をたくさん見れるように頑張っていきます。

・書初め大会、節分祭り、小学校交流会、保育

見学後の感想

- ・リハビリに取り組む方のニーズを聞き取り、自宅で面談を行うことも利用者のやりがいにつながる。
- ・好きな事、や得意な事をやっているうちにリハビリになるのがよい。
- ・開かれた環境の中に個室を用意して別のプログラムを提供できるように配慮されていた。
- ・体操を指導員+DVDでよりわかりやすく見てもらいながら行っている点は非常によかった。
- ・本人たちの希望を聞きながら、常に新しい事 に推進している事が素晴らしい。
- ・専門知識を持ったスタッフがたくさん配置されており、リハビリや余暇に対してなどそれぞれ 工夫されている。

- ・言葉がなく、視力や聴力の低下が著しい利用者に楽しんでもらえる余暇はなにか、常に 頭を悩ませていた。リハビリ体操は無理なく出来ると思うので、できそうなことから少しで も取り入れていきたい。
- ・障がい高齢者が増加してきており、65歳に満たない状況でIADLが低下してきている方がいる。必要がある方には事業を説明、紹介していきたい。
- ・記憶カテストなども余暇としてだけでなく、自閉症の利用者への自立課題への応用を検討したい。



宝永きらめきデイサービス





リハビリテーション

- ・利用者の目的にあわせて専門職がお 手伝いします。
- ・パワーリハビリが充実しており、利用者がいきいきと運動に取り組みます。



地域との交流

- ・お食事会や集会室の貸し出しを行い、 地域に住む方どなたでも利用できるよう になっています。
- ・週に1回「認知症カフェ」を開催しており、 地域のボランティアの協力を得ながら、 認知症の方とご家族、地域の方などどな たでも参加でき、集える場所となっていま す



見学後の感想

- ・できることは自分でというスタンスが、利用者さんの 表情が生き生きしている理由だと感じた。
- ・利用者の夢や目標に向かって、職員も一緒に取り組む姿勢が素敵だった。
- ・積極的に外部と交流し、デイサービスの中だけで終わらない支援を意識していると感じた。
- ・常だと「もう高齢だから」と支援者もご本人も諦めてしまいがちだが、ここでは仕事支援として活動につなげているところが非常に参考になった。



- ・自分の事業所で、ほとんどの人が自室で過ごしているのが現状。その中で、いかに日中の過ご し方を工夫できるか、利用者の気持ちを前向きにできるか刺激を受けた。
- ・自分の事業所では「することがなにもないから寝ている」という利用者が多く、模索しているときに、きらめきでは足湯につかって女子会をするということで、ヒントをいただいた。
- ・介護事業所の職員さんは、障がいの受け入れについてはあまり知識がないといっており、障がいと介護の連携の必要性について感じた。
- ・支援者側がと主導で支援してしまうことが多いが、きらめきでは、まずは一人一人の夢をくみ取るところから始め、それを徐々に形にしていく中で支援に繋がると感じた。「利用者主体」の意味を再度考えさせられる良い機会になった。





見学・体験 に希望の方はひお声かけ下さい!

『地域』

● ◇対象者◇ 歩いて施設内を移動できる 事業対象者 要支援1~要介護2

『活動』

自分らしく 楽しみながら いつまでもこの町で 暮らしたい

『参加』

『楽しみ』や『生きがい』を一緒に見つめてみませんか?

いちごライフでは 活動範囲を拡げて、社会参加の促進を行い 地域との絆を深めることを 目指します。

👛 生活力向上



『自分で』と『みんなで』の活動を通し、いつも元 気なライフ(人生)にしよう!

- ・専門職が面談重視で"やりたい"を叶えるプランをオーダーメイドし"自分つくり"をお手伝いします。
- ・一緒に、地域での活動に取り組み、社会の一員としての役割を見つめ"町づくり"に力を入れます。
- ・医療や福祉、公共施設や民間企業とコラボレーションし、助け合える"関係づくり"を目指します。



かもんライフ

- ・ライフに招待し利用者様と一緒に楽しい時間をお過ごしいただきます。
- ・簡単な作業や活動等を行います。

でりばライフ

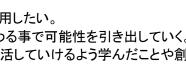
- ・ライフの利用者様と一緒にお伺いします。
- 簡単な作業や活動等を行います。

🥘 見学後の感想



- ・半日の通所は高齢者の生活リズムにも合っている。
- ・いわゆるリハビリ訓練等は行っていないが、 本人が事業所に来てやりがいを持って自分で 活動されているならそれも身体機能の維持に 繋がる。
- ・地域と接点を持つことで喜びを感じることができる。
- ・「楽しくないと続かない」という言葉が印象的 だった。
- ・目標設定し、やる気を引き出す、それが誰かの役にたつ。誰かのために…と活動意欲に繋げている。

- ・日中活動の中に、身近にあるものを活かしながら創作活動に活用したい。
- ・利用者のできるできないを、職員が決めてしまわずに見守り関わる事で可能性を引き出していく。
- ・高齢化している利用者様が自発的に活動し生きがいを持って生活していけるよう学んだことや創作内容を取り入れていきたい。
- ・外部とのやりとりは、本人にとってもやりがい、喜びが多いような気ががするので、このような機会を増やしていきたい。







六条リハビリセンター





リハビリテーション

- •専門のリハビリスタッフによるマッサージや トレーニングを行い、日常生活で必要な機能 の向上・改善を図っています。トレーニングマ シーンも充実しています。
- •「食べる」「話す」といった口腔機能の訓練も 行っています。



レクリエーション

・利用者の趣味や得意なことに合わせて、選 んでいただけます。自分で選択することも、リ ハビリのひとつになり、利用者に喜ばれてい ます。



見 学 後 の 感 想ブ



- ・生活拠点となる自宅での生活が続けられるよう に利用者や家族のニーズに沿ったプログラムが 提供されていた。
- ・通所するだけでも、自宅の生活以外の刺激もあ り、生活全般の気力に繋がると感じた。
- 専門職が充実していると感じた。



- ・個々の状態に応じた丁寧な対応や、目的を持って参加できる活動で他者との仲間意識が芽生 え、意欲にもつながるようにしていきたい。
- ・いくつかのレクリエーションの中から、利用者に選択してもらうという点が、自分の好きな活 動をしており生き生きしていた。利用者の主体性を尊重した支援を心がけていきたい。